

Game Report

開催場所：大津町総合体育館

試合区分：第 23 回全九州大学春季バスケットボール選手権大会 男子 5 位決定戦

試合期日：2018 年 5 月 20 日(日)

CC：佐多 裕樹

試合時間：11：40～

U1：岡山 幸二

U2：徳丸 昂

鹿屋体育大学	● 50	7	—1st—	25	○ 70	日本経済大学
		11	—2nd—	15		
		20	—3rd—	11		
		12	—4th—	19		

第 1 ピリオド

日経大ボールから試合が始まる。開始早々、日経大 #35 小野が 3P シュートを沈める。その後も #31 矢野が立て続けに得点を決め、日経大が主導権を握る。対する鹿体大は日経大の流れを断つため、タイムアウトを請求。タイムアウト後、鹿体大は #21 池浦、#23 松井が得点を重ねるが、日経大の勢いは止まらず、7-25 で第 1 ピリオド終了。

第 2 ピリオド

序盤、点差を縮めたい鹿体大は果敢に攻め、日経大のファウルトラブルを誘い、確実にフリースローを決める。しかし日経大の猛攻は止まらず、#21 張、#30 池上、#30 矢野が得点を量産し、鹿体大との点差を一気に広げる。対する鹿体大は、#21 池浦がインサイドで力強いプレーでシュートを決め、日経大に食らいつくも、18-40 と日経大リードのまま第 2 ピリオドを終える。

第 3 ピリオド

開始直後、鹿体大は #23 松井がステップインシュート、#9 長谷川が 3P シュートを沈め、リズムに乗る。対する日経大も #33 濱砂を投入し応戦する。中盤、鹿体大は全員でリバウンドに加勢し、#9 長谷川が 3P シュートを決めると、続けて #21 池浦も連続で得点を重ね、一気に流れは鹿体大へ。流れを断ちたい日経大は残り 3:30、タイムアウトを請求。タイムアウト後、日経大は #99 蔡がゴール下で奮起し鹿体大に流れを渡さない。その後も両チーム一進一退の攻防が続き、38-51 と日経大のリードのまま第 3 ピリオドを終える。

第 4 ピリオド

序盤、鹿体大は大きく開いた点差を縮めるため外からのシュートを果敢に放ち、#12 川尻、#9 長谷川が 3P シュートを沈める。対する日経大も流れを渡すまいと #33 濱砂が冷静にボールをコントロールし、確実に得点を重ねていく。その後も、日経大は #21 張、#12 武田の粘り強いディフェンスで相手のミスを誘う。終盤、日経大の流れを断ちたい鹿体大は残り 2:38、後半 2 回目のタイムアウトを請求。しかし、タイムアウト後も日経大の流れは止まらず、#30 池上のアシストから #31 矢野がゴール下のシュートを沈め、さらに点差を広げていく。最後まで粘り強く戦った鹿体大であったが、点差は埋まらず、50-70 で日経大が勝利を収めた。